

のり面災害補修工の作業手順書

制定・改定日 2021.10.5

	内 容	留 意 事 項
準備工	作業内容の確認 作業人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検 現地状況の確認	指示内容確認 安全打合せ書による。 安全チェックシートの活用。 KY活動・手順書確認
掘削工	崩落土及び地山の掘削はバックホウにて行う。 丁張を設置し、所定の位置、延長、勾配を確認しながら床掘りを行う。 床付けは平坦になるように床均しを行い、転圧機にて転圧する。	作業前点検の実施及び作業計画書の周知。 重機接触事故防止を防ぐ。重機旋回範囲内は立ち入り禁止。 有資格者による、機械作業を行う。資格証の確認。
かご枠工	かご枠の形状寸法を確認し、かご枠を組み立てる。 中詰め材は15cm～20cmの栗石等を使用し、隙間のある場合は、目潰し材を入れ転圧する。 中央部及び後面側はある程度まで重機にて投入し、仕上げや前面側は人力にて行う。	有資格者による、機械作業を行う。 中詰め材で足等へ落下、手詰め、足詰め等に十分注意する。 旋回範囲内への立ち入り禁止措置を行う。
ボトルユニット設置工	重機を使用し洗掘箇所を整形する。 吸出し防止材を設置し、ボトルユニットをラフタークレーンを使用して積み上げる。 ボトルユニットを既設法面高さまで設置する。	重機作業時ののり面転落防止。 アウトリガー最大張り出しによる作業を行う。定格荷重の確認。 有資格者による玉掛、機械作業を行う。 重量物取り扱いに注意する。
仮設排水管設置工	既設排水溝に仮設排水管を設置し法面への越流対策を行う。 アンカーピンを法面に打ち込み仮設排水管を固定する。	排水管接続部の固定等水漏れに十分注意する。 作業中の法面からの転落に注意する。
作業後	作業箇所の清掃を竹ぼうき等で行う。	作業箇所に小石など落ちていないか清掃後確認を行う。
後片付け	使用した道具、機械、余った材料は、トラックに積み込みむ。	使用した道具等現場に忘れ物が無いか確認をする。

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談すること。

注意事項

作業に合った保護具を使用する。
有資格者による、機械作業を行う。
重機の作業半径内立ち入り禁止。
積み荷の過積載禁止。
近隣住民への配慮を行う。
車輛誘導の徹底。
手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
一人作業の禁止

作業編成(標準)	員数	資機材
作業責任者	1名	バックホウ・ダンプ・ユニット
現場監視員	1名	ラフタークレーン
作業員	6名	発電機・電工ドラム
		ハンマードリル

安全器具・保護具確認

ヘルメット・反射(自発光)チョッキ
警笛